

# 環境活動レポート

(対象期間 2022年12月～2023年11月)



## 目次

1. 組織の概要、対象範囲、産業廃棄物収集運搬受託量、収集運搬許可  
車両・機材……………1頁
2. 実施体制図……………4頁
3. 環境経営方針……………5頁
4. 環境経営目標……………6頁
5. 環境経営目標の実績……………7頁
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容、その取組結果及び評価……………8頁
7. 次年度の環境経営目標と環境経営計画……………9頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果  
並びに違反、訴訟等の有無……………10頁
9. 代表者による全体評価と見直し・指示……………11頁

株式会社ウェイト・プランナー

2023年12月13日発行

# 1. 組織の概要,対象範囲

## 1.1 組織の概要

1) 名称及び代表者名

株式会社 ウェイスト・プランナー

代表取締役 木下 昌秀

2) 所在地

本社 神奈川県横浜市泉区中田西三丁目27番45号愛宕ビル201-A

対象事業所 神奈川県横浜市泉区中田西三丁目27番45号愛宕ビル201-A

第一駐車場 神奈川県横浜市泉区和泉町1058番地

第二駐車場 神奈川県横浜市泉区中田南5丁目59-19

3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

責任者 取締役会長 齋藤 一久

担当者 総務部 蛸原 サヤカ

TEL:045-806-1201

FAX:045-806-1202

メール:waste@wp-group.co.jp

4) 事業活動内容

産業廃棄物収集運搬業(積替・保管を除く)

特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替・保管を除く)

再生資源の回収・収集及び売却

5) 事業の規模

法人設立年月日 平成18年12月8日 設立

資本金 3,500万円

		事業年度			
	単位	2019年	2020年	2021年	2022年
売上高	億円	7	7	7	7
従業員	人	9	10	10	12
延べ床面積	m <sup>2</sup>	62.22	62.22	62.22	62.22

		項目	2022/12~2023/11
収集運搬量		産業廃棄物	5274.29t
		特別管理産業廃棄物	0t
		再生資源	536.03t

## 1.2 対象範囲

1) 対象範囲 「1.1 2)所在地」に記載

2) 活動範囲 「1.1 4)事業活動内容」に記載

3) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

### 1.3 産業廃棄物収集運搬受託量

2022年度廃棄物収集運搬合計表		
処理方法等	廃棄物等種類	処理量(t)
(i)収集運搬(産業廃棄物)	廃プラスチック類	2568.96
	金属くず	681.45
	紙くず	19.00
	木くず	229.31
	汚泥	39.91
	廃油	44.17
	がれき類	761.53
	ガラスくず等	589.39
	繊維くず	0.57
	ばいじん	155.36
	燃え殻	0.00
	動残	8.63
	鉱さい	0.00
	廃酸	0.00
	廃アルカリ	0.00
	(石綿含有)	176.03
産業廃棄物収集運搬量合計		5274.29
(石綿含有廃棄物内訳)	廃プラスチック類	0.00
	ガラス陶磁器くず	52.51
	がれき類	123.52
(i)収集運搬(特別管理産業廃棄物)	廃石綿等	0.00
	廃油(引火性油)	0.00
	廃酸(強酸)	0.00
	廃アルカリ(強アルカリ)	0.00
	PCB	0.00
特別管理産業廃棄物収集運搬量合計		0.00

2022年度再生資源回収・収集等合計表		
処理方法等	廃棄物等種類	処理量(t)
(i)収集運搬(再生資源物)	ダンボール	532.74
	アルミ缶	3.29
再生資源回収・収集等量合計		536.03

# 1.4 収集運搬許可

株式会社 ウェイスト・プランナー

**収集運搬業許可保有一覧表 (積替え保管を除く)**

2023年12月13日

産業廃棄物収集運搬業許可					許可品目													備考			
件数	都道府県及び市	新規取得年月日	有効期限	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	許可の条件等	
1	神奈川県	H19.04.18	R9.4.17	第 01402134322 号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
2	東京都	H19.05.01	R9.4.30	第 01300134322 号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
3	静岡県	H19.07.03	R9.7.2	第 02201134322 号	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
4	埼玉県	H19.05.31	R9.5.30	第 01101134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
5	愛知県	H20.05.23	R10.5.22	第 02300134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
6	三重県	H20.11.27	R12.11.26	第 02400134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
7	千葉県	H19.05.01	R9.4.30	第 01200134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
8	茨城県	H22.05.10	R7.5.9	第 00801134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
9	栃木県	H22.04.19	R7.4.18	第 00900134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
10	福島県	H24.01.12	R9.1.11	第 00707134322 号	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
11	宮城県	H24.02.02	R9.2.1	第 00400134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
12	群馬県	H22.03.17	R7.3.16	第 01000134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
13	長野県	H21.06.18	R6.6.17	第 02009134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
14	山梨県	H20.08.05	R12.8.4	第 01900134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
15	岐阜県	H21.05.29	R6.5.28	第 02100134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
16	京都府	H23.11.28	R8.11.27	第 02600134322 号		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
17	大阪府	H23.12.16	R8.12.15	第 02700134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
18	奈良県	H21.09.04	R6.9.3	第 02900134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
19	兵庫県	H24.08.17	R9.8.16	第 02802134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
20	岡山県	H24.12.12	R9.12.11	第 03300134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
21	広島県	H25.01.07	R10.1.6	第 03400134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し

※●は石綿含有産業廃棄物を含む

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可					許可品目													備考			
件数	都道府県及び市	新規取得年月日	有効期限	許可番号	廃油	廃酸	廃アルカリ	特定有害産業廃棄物										許可の条件等			
								廃石綿	鋳さい	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃酸	廃アルカリ	PCB等	PCB汚染物	PCB処理物				
1	神奈川県	H21.06.02	R6.6.1	第 01452134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
2	東京都	H20.05.19	R10.5.18	第 01350134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
3	静岡県	H28.06.09	R8.6.8	第 02251134322 号			○										○	○			無し
4	埼玉県	H20.09.22	R12.9.21	第 01151134322 号	○			○													無し
5	愛知県	H20.05.23	R10.5.22	第 02350134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し
6	三重県	H20.11.27	R12.11.26	第 02450134322 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無し

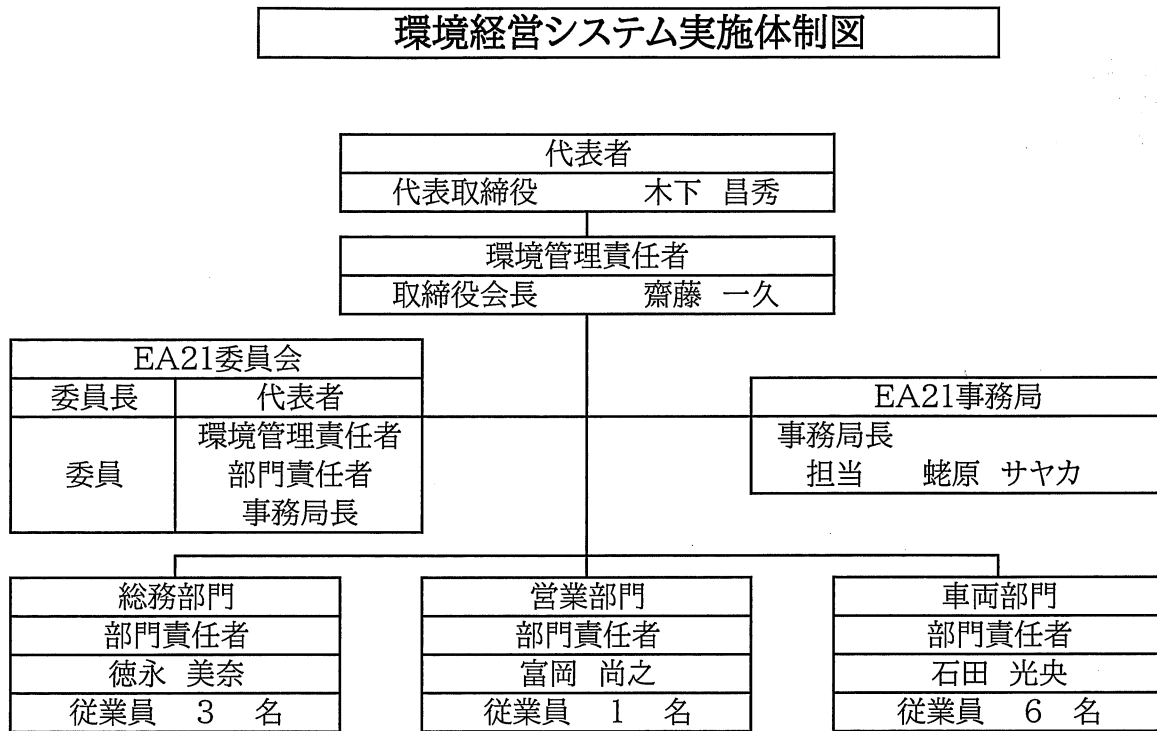
(再生資源の回収・収集及び売却に於いては許可不要)

# 1.5 車両・機材

- 1)アームロール車(3t車:1台、4t車:2台、8t車:3台)
- 2)ダンプ車(2t車:1台、3t車:1台、10t:2台)
- 3)ユニック車(4t車:1台、3t車:1台)
- 4)営業車(3台)
- 5)軽トラック(1台)
- 6)エコパレット(1㎡:84個)
- 7)コンテナ(5.5㎡:2個、8㎡:34個、13㎡:21個、16㎡:2個)
- 8)鉄箱(1.5㎡:31個)

(2023.12.13現在)

## 2. 実施体制図



2022年12月より

### 役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。</li> <li>・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。</li> <li>・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する。</li> <li>・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意。</li> <li>・環境経営全体の取組状況及び効果を評価し、総括的見直しを実施し、必要な指示を行う。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知</li> <li>・全社組織へのEA21活動実施の統括</li> <li>・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告</li> <li>・内外環境コミュニケーションへの対応</li> <li>・問題点の是正処置の統括</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針等決定事項の社内伝達</li> <li>・EA21活動に関する協議、意見交換</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・EA21活動に関する事務</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知</li> <li>・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ</li> <li>・問題点の是正処置、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施</li> <li>・EA21活動に関する提案</li> </ul>

# 環境経営方針

## ✽基本理念✽

当社は、2006年12月設立依頼、お客様のニーズに応えるべく取り組みを社命と考え行動し現在に至っております。

今世紀では、過去の負である環境問題などをどのように精算するかが問われた時代であると認識し、弊社ではどのような状況下であっても社会貢献できる企業でありたいと考えております。

私どもの主たる業務であります「産業廃棄物収集運搬業務」に関して、その運搬業務における「効率性」、処理業務に関する「透明性及び安定性」に重点をおき、社名にあります意味の「廃棄物・立案者」としてお客様への安心・安全を提供し、継続的維持管理及び、サポートが行える企業であると考え、スタッフ一丸となり全国展開を行っております。

これからは、多種多様なお客様との連携ネットワークの強化を図り、より品質の高いサービスを提供するとともに、事業拡大を図る所存でございます。

## ✽環境行動指針✽

1. 限りある資源の陽光活用を目的とし、産業廃棄物の収集運搬業務を通じて将来の活用資源を安定させるため、環境マネジメントシステムを構築、運用、維持更には継続的に改善発展させる環境活動を行う。
2. 事業活動に伴う法令及び条例等を厳守して、安全及び安定的運搬に努め、環境保全、資源保護及び資源の有効活用に努めると同時に自社の経済活動の発展も推進する。
3. 産業廃棄物の収集運搬業務の事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量の抑制。  
特に運搬に使用する燃料の有効活用を主体に、燃費向上のための、社員のエコ運転及び、推進車輛の定期点検整備を実施し、運搬の効率性を高める。
4. 社員への環境教育を定期的に行う。  
特に廃掃法や関連法規等の改定された時点で社員への通知や説明を行い、理解を図り法規制の厳守を確実にする。
5. 顧客に対して廃棄物をリサイクル処理の推進を図る。  
環境に配慮した廃棄物の分別方法の提案を行うことで廃棄物の減少を行う。

2022年12月13日

株式会社ウェスト・プランナー  
代表取締役 木下昌秀

制定：2010年1月8日

#### 4. 環境経営目標

No	環境方針項目		基準目標値			CO2 換算係数	実数値			次年度目標値		中長期目標値	
			2020年度	2021年度	2022年度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
1	二酸化炭素 排出量の 削減	電力使用 量の削減	電力使用量			0.376 (東電)	基準値に対し10%上昇	基準値に対し6%削減	基準値に対し19%削減				
			4,128	4,345	4,279		4,569	4,074	3,428	3,713	3,956	3,797	
		燃料 使用量 の削減	油種別消費量			2.32	基準値に対し7%削減	基準値に対し18%削減	基準値に対し33%削減				
			ガソリン<kg-CO2>				8,821	7,524	5,378	6,386	7,166	6,709	
			油種別消費量			2.58	基準値に対し6%上昇	基準値に対し22%削減	基準値に対し4%削減				
			軽油<kg-CO2>				238,905	165,130	191,374	176,469	186,351	179,596	
			燃料合計<kg-CO2>			-	247,726	172,654	196,752	184,432	194,298	187,471	
合計(kg-CO <sub>2</sub> )			-	238,979	176,728	200,180	188,039	198,201	191,189				
2	トラック車種別燃費の向上	大型車燃費			-	基準値に対し2%上昇	基準値に対し2%上昇	基準値に対し7%上昇					
		3.96	4.05	4.11	4.14	4.16	4.41	4.25	4.18	4.21			
		中型車燃費			-	基準値に対し10%上昇	基準値に対し5%上昇	基準値に対し10%減少					
	車種別燃費の向上	5.29	5.65	5.92	5.98	5.97	5.28	5.57	5.75	5.66			
		小型車燃費			-	基準値に対し28%上昇	基準値に対し11%上昇	基準値に対し27%減少					
		6.24	6.86	7.85	8.18	7.68	5.72	6.63	7.24	6.94			
		営業車燃費			-	基準値に対し33%上昇	基準値に対し17%上昇	基準値に対し5%減少					
16.79	20.39	23.19	22.85	23.99	21.95	22.74	22.97	22.85					
軽自動車燃費			-	基準値に対し28%上昇	基準値に対し16%減少	基準値に対し15%減少							
12.90	15.09	14.61	16.87	12.64	12.37	12.38	13.50	12.94					
3	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量			-	基準値に対し55%上昇	基準値に対し4%上昇	基準値に対し1%上昇					
		431.2	570.3	627.6	670.0	597.8	629.8	607.7	611.5	603.5			
4	水道使用量の削減	水道使用量			-	基準値に対し46%上昇	基準値に対し11%上昇	基準値に対し7%減少					
		70.3	91.1	101.5	103.0	102.0	94.0	97.0	98.3	96.7			
5	紙類使用量の削減	紙類使用量			-	基準値に対し8%削減	基準値に対し60%削減	基準値に対し63%削減					
		486.4	454.5	309.5	445.6	179.7	111.5	144.1	224.6	182.5			

※二酸化炭素排出係数は2022年度の東京電力エナジーパートナー(株)調整後の排出係数0.376kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用した。

※2022年度の目標値設定は2020年度、2021年度の実数値の平均から1%削減した数値を目標値として設定した。

※2023年度の目標値設定は2021年度、2022年度の実数値の平均から1%削減した数値を目標値として設定した。

※2024年度の目標値設定は2022年度、2023年度の目標値の平均から1%削減した数値を目標値として設定した。

※2025年度の目標値設定は2023年度、2024年度の目標値の平均から1%削減した数値を目標値として設定した。

※目標値に対して、達成した実数値に対しては青文字、未達の場合赤文字で数値を表記した。

※化学物質の取り扱いはない。

## 5. 環境経営目標の実績

No	環境経営方針 (キーワード)	環境経営目標項目	目標値	活動期間(2022年12月~2023年11月)		
				実数値	評価	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	4,279 kg-CO <sub>2</sub>	3,428 kg-CO <sub>2</sub>	○	
		燃料使用量の削減	油種別消費量	油種別消費量	油種別消費量	
			ガソリン	ガソリン	ガソリン	
			8,091 kg-CO <sub>2</sub>	5,378 kg-CO <sub>2</sub>	○	
			軽油	軽油	軽油	
			199,998 kg-CO <sub>2</sub>	191,374 kg-CO <sub>2</sub>	○	
		燃料合計	燃料合計	燃料合計		
208,089 kg-CO <sub>2</sub>	196,752 kg-CO <sub>2</sub>	○				
合計(kg-CO <sub>2</sub> )	212,344 kg-CO <sub>2</sub>	200,180 kg-CO <sub>2</sub>	○			
2	トラック車種別燃費率の向上	大型車燃費	大型車燃費	大型車燃費	○	
		4.11 km/ℓ	4.41 km/ℓ			
		中型車燃費	中型車燃費	中型車燃費	×	
		5.92 km/ℓ	5.28 km/ℓ			
	小型車燃費	小型車燃費	小型車燃費	×		
	7.85 km/ℓ	5.72 km/ℓ				
	営業車燃費	営業車燃費	営業車燃費	×		
23.19 km/ℓ	21.95 km/ℓ					
車種別燃費率の向上	軽自動車燃費	軽自動車燃費	軽自動車燃費	×		
	14.61 km/ℓ	12.37 km/ℓ				
3	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量	廃棄物排出量	廃棄物排出量	×	
		627.6 kg	629.8 kg			
4	水道使用量の削減	水道使用量	水道使用量	水道使用量	○	
		101.5 m <sup>3</sup>	94.0 m <sup>3</sup>			
5	紙類使用量の削減	紙類使用量	紙類使用量	紙類使用量	○	
		309.5 kg	111.5 kg			

※二酸化炭素排出係数は2022年度の東京電力エネルギーパートナー実績の調整後排出係数0.376kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用した。

※No.1~6の環境目標項目は、目標値を達成した場合は「○」、目標値未達で未達の場合、「×」と評価し、実数値を赤文字で表示した。



## 6. 環境経営計画と環境経営計画に基づき実施した取組内容、その取組結果及び評価

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	活動期間 2022年12月～2023年11月	取組			
						環境経営計画に基づき実施した取組内容、取組結果	評価		
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	①不使用時、機器の電源を切る	総務部 徳永	(左記達成手段全て)	→	使用していない機器の電源を切るよう心掛けた。	○	
			②空調温度の適正化(冷房26℃、暖房20℃)				窓に遮熱シートを使用し、エアコン設定温度を徹底管理した。		
		2)燃料使用量の削減	ト ラ ク ・ 自 動 車 燃 料	①エコドライブの実施	営業部 富岡	(左記達成手段全て)	→	車間距離を取り、アクセルやブレーキの回数を減らした。	○
			②定期的に車両点検や洗車の実施	毎月、車両点検表を提出し徹底している。毎週洗車を行っている。					
			③収集運搬作業効率や燃費の向上	燃費向上の為、適切な車間距離を保った。					
④安全管理の徹底	車両部 石田	想定外の事故や緊急事態に対する訓練を毎年取り組んでいる。							
⑤高速道路料金や燃料料金の節約		配車によって高速費用や燃料使用量等の経費削減を徹底した。							
2	廃棄物排出量の削減	①分別管理、リサイクルの推進	総務部 徳永	(左記達成手段全て)	→	分別し、リサイクル可のものはリサイクルに出すよう徹底した。	×		
②ゴミの持ち帰り、または持ち込まない	ゴミを持込はせずに持ち帰りを徹底した。								
3	水道使用量の削減	①手洗いや洗い物、洗車時の節水	総務部 徳永	(左記達成手段全て)	→	節水のシールを貼り、手元止水・バケツ節水を徹底した。	○		
②雨水を利用した節水	タイヤ清掃に利用し、駐車場の洗車での節水を徹底した。								
4	紙類使用量の削減	①電子マニフェストの普及	総務部 徳永	(左記達成手段全て)	→	記録をPCのデータとして保存し、紙類使用量削減に努めた。	○		
②印刷の両面化	裏紙の利用を徹底し、紙類の使用量の削減を行った。								

7. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	単位	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール		
							2023年12月～2024年11月		
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	電力使用量 3,713	kg-CO2	①不使用時、機器の電源を切る ②空調温度の適正化(冷房26℃、暖房20℃)	総務部 徳永	(左記達成手段全て) →		
		2)燃料使用量の削減	ガソリン使用量 6,386	kg-CO2	①エコドライブの実施(車間距離を取る) ②定期的に車両点検や洗車の実施 ③収集運搬作業効率や燃費の向上 ④安全管理の徹底 ⑤高速道路料金や燃料料金の節約	営業部 富岡	(左記達成手段全て) →		
			軽油使用量 176,469					自動車燃料	車両部 石田
			CO <sub>2</sub> 総量計						
2	トラック車種別燃費率の向上	大型車自動車燃費	4.25	km/ℓ	エコドライブの実施 車間距離を取る等	車両部 石田	(左記達成手段全て) →		
		中型車自動車燃費	5.57	km/ℓ	エコドライブの実施 車間距離を取る等		(左記達成手段全て) →		
		小型車燃費	6.63	km/ℓ	エコドライブの実施 車間距離を取る等		(左記達成手段全て) →		
		営業車燃費	22.74	km/ℓ	エコドライブの実施 車間距離を取る等		営業部 富岡	(左記達成手段全て) →	
軽自動車燃費	12.38	km/ℓ	エコドライブの実施 車間距離を取る等	(左記達成手段全て) →					
3	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 607.7	kg	①分別管理、リサイクルの推進 ②ゴミの持ち帰り、または持ち込まない	総務部 徳永	(左記達成手段全て) →			
4	水道使用量の削減	維持管理目標の設定 97.0	m <sup>3</sup>	①手洗いや洗い物、洗車時の節水 ②雨水を利用した節水(タイヤの清掃)	総務部 徳永	(左記達成手段全て) →			
5	紙類使用量の削減	紙類使用量 144.1	kg	①電子マニフェストの普及 ②印刷の両面化	総務部 徳永	(左記達成手段全て) →			

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

### I. 遵守義務のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	遵守状況確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)(一般廃棄物の処理)	2023/12/13	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)(産業廃棄物の適正処理)(産業廃棄物の収集運搬)	2023/12/13	○
	横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例	2023/12/13	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	2023/12/13	○
大気汚染	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	2023/12/13	○
	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)	2023/12/13	○
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	2023/12/13	○

当社に係る環境関連法規等は上記の通りだが、遵守状況を2023年12月に確認した結果、違反はなし。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も3年以上なし。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し実施日	2023年12月13日 ( <input type="checkbox"/> 定期見直し <input checked="" type="checkbox"/> 臨時見直し )			
見直し対象期間	2022年12月1日 ~ 2023年11月30日			
出席者	代表者、環境管理責任者、部門責任者			
前回の見直し記録より指示への取組結果	指示事項:「CO2排出の抑制と資源有効活用の推進させるため、運搬車両を中心にエコ運転を推進させ燃費の向上と車両定期点検整備の確立、安全運転の徹底、運搬の効率化等を目指す。また、この環境活動を社員にもっと理解浸透させる」ことを継続的な目標とする。 対応状況・取組結果:実施しており、結果もでている。			
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) ②環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果(環境経営計画兼実績書による) ③適用範囲、実施体制 ④問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正/予防処置報告書による) ⑤外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による)			
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、③、④、⑤等を踏まえて評価) ①従業員は役割を理解して取組を行い、目標達成に向けて活動した。 ②法規制の順守状況には問題は生じていない。 ③電気、水道は下回ってしまったが、ガソリンCO2総排出量、車両燃費ともに目標値に対し向上した。 ④その他の問題は発生していない。			
	【環境経営への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)			
	目標項目	目標達成状況	経営計画実施状況	目標・活動計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	CO2総排出量の削減	○	○	目標値を達成。
	電気CO2排出量の削減	○	○	目標値を達成。電灯の使用調整やエアコンの温度管理の徹底が結果につながった。次年度も引き続き行う。
	軽油CO2排出量の削減	○	○	目標値を達成。ルートの効率化を含め、エコドライブを心掛けた結果がでた。次年度は更なるルートの効率化を求める。
	ガソリンCO2排出量の削減	○	○	目標値を達成。引き続き、ゆとりある行動を心掛け、意識してエコドライブを続ける。
	全車両の燃費率の向上	×	○	定期的な点検と、エコに対する意識の浸透にはあるもルートの効率化を進める中、エコドライブを今まで以上に徹底する。
	水道使用量の削減	○	○	増車及び、駐車場での洗車が日常化している為、使用量の増加が見られるが、今まで通り手元止水・バケツの使用により節水を心がけていく。
	廃棄物排出量の削減	×	○	個々の持込物は厳禁とする。
紙類使用量の削減	○	○	まとめて大量購入から都度購入に替えたことにより使用量の見直しに繋がり結果がでた。	
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	現在の方針を維持する。			
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	現在の方針を維持する。			
	【実施体制】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
現在の体制を維持する。				
【環境経営システム等】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
今期もEA21の2017年度版に対応した環境経営システムの見直しを行っていく。				
【総括】 環境経営方針、環境経営目標を定め、従業員全員が環境経営目標に向け部署毎に全員で取り組んだ。成果が一時的なもので終わらないよう、意識の向上と実践を継続していきたい。 引き続き、顧客に対してリサイクル処理の推進を行い、分別方法のアドバイス等を行っていくことを重要視する。 計画表を作成し、実施内容・結果等を明確にすることにより、活動の継続を図る。 ルートの効率化を計り、時間とCO <sub>2</sub> 排出量の削減につなげていく。				